

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

	評 価 日	2025年3月31日
団 体 名	こどもまんなか夢みる学校プロジェクト	
事 業 名	こどもまんなか夢みる学校プロジェクト	
事業経費③	190,100 円	支援金額⑨ 80,000 円

事業の目的・内容	地域の課題 発達障がいやグレーゾーンの子、不登校、イジメなどが佐久地域でも増加傾向にある。一方で、こどもの主体性を重視した教育を実践し、効果を挙げている学校が全国的に注目を集め、佐久市内の小学校でもそのような教育を目指す取り組みが始まっている。
	事業内容 上記のような教育について知り、学びあえる場として、映画上映会や講演会、座談会・学習会を開催する。学びの場であるとともに、定期的を開催することで、不安や悩みを語り合う居場所としての役割も果たしていく。

事業の活動実績	【座談会・学習会】 （いずれも生涯学習センター） 4月28日（参加8人）、8月11日（10人）、11月10日（8人）、12月8日（7人）、1月12日（6人）、3月23日（17人）
	【講演会】 6月22日：武田晶子先生講演「ネット社会の奔流と子どもたち」（23人） 7月7日：矢島克美先生「発達障害サポーター養成講座」（32人） 10月5日：加藤博先生講演会「子どもたちが幸せであるために」（36人）、車座座談会（約15人） 【映画上映会】 10月19日 「チョコレートなひとびと」上映会。2回上映、間に映画で取り上げられた「久遠チョコレート」の長野店長との座談会（約90人）

活動写真は別紙

別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	【映画上映会】 活動を続ける中で、障がいがある子どもたちの将来の仕事・自立に向けた生活のあり方に不安を抱えている保護者が多いことを知り、そうした人たちを積極的に雇用している「久遠チョコレート」を描いた作品の上映会を行った。期待通りの集客ができ、評価も非常に高かった。座談会でも、障がい者の就職や職場の状況などについての質問が多く出され、店長から具体的な回答を聞くことができた。
	【講演会】 いずれも非常に好評だった。 武田先生にはメディアと子どもの自己肯定感の関係など、斬新な切り口のお話を聞いた。矢島先生の講座は、発達障がいがある子がふだんどんな感覚で過ごしているのかを体感できる内容で、支援をしていく中で不可欠な感覚・知識を身に着けることができた。 加藤先生には南アルプス小の長年の実践を踏まえた「子ども観」「教育観」、日々の具体的なエピソードを語っていただいた。佐久市内で同様の子ども観に基づく取り組みをスタートした小学校の先生も来られ、他の参加者も交えて具体的な実践を広げていくためのヒントが満載の充実したやり取りができた。 【座談会・学習会】 毎回おおむね10人前後の参加者で、「常連」の参加者も増え、子育ての不安や悩みについて安心して話せる雰囲気の間になっている。上記の市内小学校の先生が年度末にゲストスピーカーとして来てくださり、1年間を振り返るなど、市内での実践とリンクした具体的なやり取りが増えてきたように感じる。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 <u>概ねできた</u> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 平均して月1回程度の活動を行った。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 <u>概ねできた</u> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 昨年度から常連参加者の「居場所」としての役割を果たせるようになってきたことに加え、当プロジェクトが希求してきた「こどもまんなか」の教育の実践が市内の学校でスタートしたこと、より踏み込んだ具体的なやりとりができるようになってきた。学校側から7年度に当プロジェクトとの意見交換を提案されるなど、地域の実践にかかわれる場面も増えることが期待される。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 <u>大幅に変更している</u> 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 3年間の支援金が終わった後の継続的な活動を意識しながら経費削減に努めたことに加え、回数よりも各回の内容を充実させることを意識しながら、支出を予定より大幅に抑えた。
	その他、評価すべき点等	当プロジェクトのメンバーも参加者も学びを積み重ねてきた結果、各イベントでより深く、現場の実践につながるようなやり取りができるようになってきた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	引き続き、集客のあり方を課題と捉えている。 また、市内小学校で新カリキュラム、新たな教育がスタートしていることを受け、現場の動きを踏まえた学びを深め、同校との連携や、他校への横展開などにつながる学びの場を設けたり、学校現場との関わりも持っていきたいと考えている。
---------	---

2024年度 佐久市まちづくり活動報告書

2025年3月31日

こどもまんなか夢みる学校プロジェクト

代表 佐藤 恵

【座談会・学習会】

- 4月28日 10～16:00 生涯学習センター（参加8人）
8月11日 10～12:00 生涯学習センター（参加10人）
 ゲストスピーカー：市川俊一さん（小諸市「もりのくまのこ」主宰）
11月10日 10～12:00 生涯学習センター（参加8人）
 南アルプス小学校視察（11/1）の感想シェア会
12月 8日 10～14:00 生涯学習センター（参加7人）
 映画「Most likely to succeed」鑑賞 & 座談会
1月12日 10～12:00 生涯学習センター（参加6人）
3月23日 10～12:00 生涯学習センター（参加17人）
 ゲストスピーカー：原科勇希先生（佐久城山小）



← 1月、原科先生との
座談会

（自己評価）

参加者が自由に発言できる雰囲気大切にしている。実際、10人程度の参加者で各自がゆっくり発言できる場になっており、参加者をもっと増やしたい思いの一方で、現状程度の参加者の方が座談会としての役割は果たせるのではないかという思いもある。

我が子について具体的な悩みを相談する方に対してゲストスピーカーから専門的な知見も交えた意見をお聴きすることもできて、座談会の内容は充実してきている感触がある。

【講演会】

6月22日 10～12:00 生涯学習センター（参加23人）無料

講師：武田晶子先生（子どもとメディア信州インストラクター）
「ネット社会の奔流と子どもたち」

7月 7日 10～12:00 生涯学習センター（参加32人）無料

講師：矢嶋克美先生（長野県発達障がいサポート・マネージャー）
発達障がいサポーター養成講座

10月 5日 生涯学習センター（参加36人） 参加料大人1000円

講師：加藤博先生（山梨県南アルプス市・南アルプス中学校校長）
10～12:00 講演会、 13～15:00 座談会



加藤先生の講演会



加藤先生との座談会

（自己評価）

メディアと子どもの健康、自己肯定感などとの関係をデータを交えて紹介して下さった武田先生、発達障がいの特性を学んで子どもの個性に合わせた接し方を学ぶ矢島先生の講座、「子どもに任せて待つ」教育を長年実践されている加藤先生のお話は、いずれも好評だった。口コミでの声かけに力を入れたところ、初めての参加者も多かった。

当プロジェクトやメンバーの活動を通して、市内の小学校で矢島先生の「ティチャーズ・トレーニング」が導入されたり、南アルプス小中学校のような「子どもに任せる」教育を実践し始めた公立小の取り組みを後押ししたりと、現場での具体的な動きにも関わる機会が増えてきた。

【映画上映会】

10月19日 10～12:00 生涯学習センター（参加91人）

映画「チョコレートなひとびと」上映会

前売り1000円、当日1200円

10:00～、13:30～の2回上映。その間に映画で描かれた「久遠チョコレート」の長野店長との座談会



（自己評価）

障がい者や性的少数者などを積極的に雇用している「久遠チョコレート」の創業者を中心に描いた映画。多様な人たちが共に生きていく社会を作っていくために必要な視点を考えさせられる内容で、特に障がいがある子の家族の参加が多かった。店長との座談会への出席者も多く、非常に有意義な意見交換ができた。上映後、今回参加できなかった人から「また上映してほしい」との声も多く寄せられた。

こどもまんなか 講演会

6月22日(土) 10:00-12:00

場 所

生涯学習センター(野沢会館)
大会議1F 大会議室1
佐久市取出町183

参加費

無料

講師 武田 晶子先生

プロフィール

子どもとメディア信州インストラクター 公認心理師 特別支援教育士 元佐久市教育委員会
「あゆみ相談室」「はてなの森相談室」

未満児～中学生の保護者を対象に発達障がい/不登校/不応/ゲームに没頭
いじめ/他、お子さんに関する心配事についての相談室を開催

テーマ「ネット社会の奔流と子どもたち」
～子育てについて一緒に考えよう～

激動のAI時代に生きる子どもたち。ネット社会との上手な付き合い方、
変化に対応できる教育や子育てについてお話いただきます。
当日は、様々な経験をお持ちの講師の先生との座談会も企画しています。
会場の後方には託児のスペースもご用意いたします。
皆様のお越しを心からお待ちしております。

お申し込みは
こちらから



主催：こどもまんなか夢みる学校プロジェクト
お問い合わせ

kodomomannaka.pj@gmail.com

令和6年度佐久市まちづくり活動支援金事業

無料開催

定員：30名限定

ご案内

発達障がい者サポーター**養成講座(90分コース)**

発達障がいを理解し、支援する存在。それが、「発達障がい者サポーター」です。地域には、発達障がいのある方々に身近なサポーターがたくさんいる長野県を目指します。

発達障がい者サポーターって?

発達障がいの方の身近な理解者です。発達障がいの方が困っている時、パニックになっている時、近くで理解し見守る人がいることは一歩の支えになります。また、ご家族にも支えとなる人が必要です。そんな身近な理解者となるのが発達障がい者サポーターです。

講師**矢島克美 先生**

長野県発達障がい

サポーター・育成センター

社会福祉士、精神保健福祉士

主催：こどもまんなか夢みる学校プロジェクト

ウェブサイト：<https://yumopro-saku.jp/>

開催日時

7/7 日

10:00-12:00

会場：野沢会館会議室1、2

開催場所

お申込み・お問い合わせ

kadomomannaka.pi@gmail.com

右記のQRコードよりお申し込みください

※定員に限りがございます。

お早めにお申し込み下さい。



温めれば何度でもやり直せる

世界中のカカオと🍫のみんな

山あり谷あり、もがき続けて19年

2021年日本民間放送連盟賞テレビ部門 グランプリ受賞

チョコレート な人々

／ 東海テレビドキュメンタリー劇場第14弾 ／

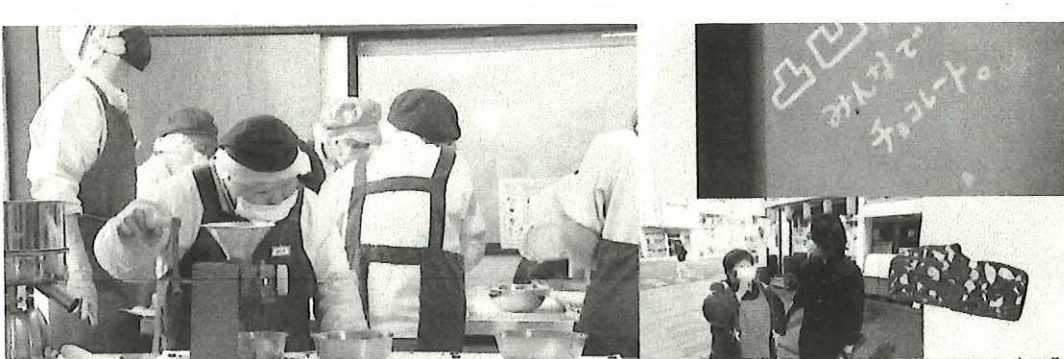
ナレーション: 宮本信子 | プロデューサー: 阿武野勝彦 | 音楽: 本多俊之 | 音楽プロデューサー: 岡田こずえ
撮影: 中根芳樹 板谷達男 | 音声: 横山勝 | 音響効果: 久保田吉根 宿野祐 | 編集: 奥田繁 | 監督: 鈴木祐司
製作・配給: 東海テレビ | 配給協力: 東風 | 2022年 | 日本 | 102分 | ©東海テレビ放送

www.tokaidoc.com/choco (R)

“人生はチョコレート”の箱のようなもの。開けてみなくちゃわからない”
これは、映画『フォレスト・ガンプ/一期一会』の名台詞。

“本当に必要なのは愛だけど、たまにはチョコも悪くない”
こちらは、漫画『リーナッツ』のちよつと意地悪な女の子、ルーシーの言葉。

この映画は、人生とチョコレートにまつわる、
甘くて、苦くて、カラフルなドキュメンタリーです。



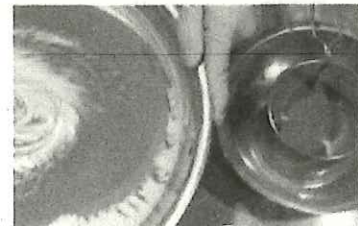
「温めれば、何度だって、やり直せる」夢のような力
私たちのチョコレート工場へようこそ！

愛知県豊橋市の街角にある「久遠チョコレート」。世界各地のカカオと、生産者の顔が見えるこだわりのフレーバー。品のよい甘さと彩り豊かなデザインで、たちまち多くのファンができました。その人気は日本中に広がり、いまではショップやラボなど全国に52の拠点をもち、華やかなデパートのイベントの常連になっています。「久遠チョコレート」は、ほかのブランドとは一味違っています。代表の夏目浩次さんたちスタッフは、かれらが作るチョコレートのように、考え方がユニークでカラフル。心や体に障がいがある人、シングルペアレントや不登校経験者、セクシュアルマイノリティなど多様な人たちが働きやすく、しっかり稼ぐことができる職場づくりを続けてきました。

はじまりは2003年、26歳の夏目さんが3人のスタッフとはじめた小さなパン屋さん。その後、いくつもの事業を展開してきた夏目さんですが、トップショコラティエの野口和男さんとの出会いが大きな転機になります。「チョコレートは失敗しても温めれば、作り直すことができる」。しかもチョコレートはアイデア次第で付加価値が高まる魔法の食材。多様な人々を受け入れる夢の扉が見えました。こうして、新しくて優しいチョコレートブランドの凸凹な物語がはじまりました。

『人生フルーツ』の
東海テレビドキュメンタリー劇場最新作
2021年日本民間放送連盟賞テレビ部門
グランプリ受賞作がついに映画化!!

福祉と経済、生きがいと生産性、さまざまな人と共に働くよろこびと、その難しさ……理想を追い求めるチョコレートブランドの山あり谷あり、きれいなだけじゃない19年を描く、東海テレビドキュメンタリー劇場第14弾。どうぞご期待ください。



www.tokaidoc.com/choco
@tokaidocmovie
fb.com/tokaidoc.movie

2024年10月19日(土)
会場：野沢会館 大会議室

入場料：前売券 大人1000円(事前チケット販売)

当日券 大人1200円
子ども(高校生以下) 無料

事前チケットの
お問い合わせは
こちらから



□ 1部 10:00~11:45 □ 2部 13:30~15:15
□ 12:00~13:00 QUONチョコレート長野店
店長 酒井 千尋さんと話そう

お問合せ kodomomannaka.pj@gmail.com

主催 こどもまんなか夢みる学校プロジェクト
協力 とことこの会
後援 佐々市

当日QUONチョコレートの
販売もあります。
(数量限定)



こどもまんなか講演会

子どもたちが幸せであるために

加藤 博氏 講演会



子どもたちの幸せって、どうすれば実現できるの？

南アルプス子どもの村中学校の校長先生が、ユニークな視点で語ります！

「安心できる」「リラックスできる」環境づくりから始める、子どもの幸せづくりのヒントが満載。

新しい教育のカタチ、一緒に考えてみませんか？

2024年 **10月5日** **土**

時 間

10:00 ~ 12:00 (講演)

13:30 ~ 15:30 (座談会)

会 場

佐久市生涯学習センター (野沢会館)
大会議室 1

参 加 費

大人1名1000円 (高校生以下無料)
午前のみ、午後のみ参加も可

カトウ ヒロシ
加藤 博氏



大阪市立大学大学院人間科学部修士課程修了。岐阜県出身。2018年春より南アルプス子どもの村中学校校長。学校法人きのくに子どもの村学園に30年つとめる。同学園を創始した堀真一郎の研究室でニールの思想を学び、こどもの自主性を尊重した幼児教室や母親教室にたずさわる。きのくに子どもの村小・中学校で15年勤務したのち、2009年南アルプス子どもの村小学校の開校と同時に異動。副校長をつとめる。同校では「かとちゃん」とニックネームでよばれ、親しまれている。「まずは子どもを幸せにしよう。すべてはそのあとにつづく(ニール)」をモットーに、子どもの可能性を全面的に信頼し、「しからない教育」を実践する学校で、教員は、決して子どもを先導したりはせず、愛をあたえ、まかせて待つことを大切にしている。

お問合せ

主催：こどもまんなか
夢みる学校プロジェクト



kodomomannaka.pj@gmail.com

<http://yume-pro-saku.jp>

お申込み

右記QRコードより
WEBフォームにて
お申込みください→



後援：長野県、長野県教育委員会
佐久市、佐久市教育委員会